



「引っ張る」「かかわる」「支える」生徒会



10月10日6校時に、生徒会役員の立会演説会と投票が行われました。

「あいさつが飛び交う学校にしたい」「エコ回収やボランティア活動を活発にしたい」「生徒会新聞を工夫したい」「全校生の手本になれるよう自ら行動したい」等の候補者の訴えに、1・2年生が真剣に耳を傾けました。詫間中学校をもっともっと良くしたい、そんな熱意が伝わってきました。

公職選挙法の改正により、選挙権が18歳に引き下げられました。生徒会役員選挙は、立候補して全体を「引っ張る」ことの大切さ、代表を選ぶ難しさ、そして選んだ後は代表任せでなく、自ら積極的に「かかわる」責任などを学ぶ絶好の機会となったはずです。

そして、忘れてはならないのが、各学級から選出され、運営面で「支えて」くれた選挙管理委員の皆さんの活躍です。お陰で、公正な選挙をとどこおりなく行うことができました。本当にありがとうございました。

新たな門出～新生徒会役員・委員長 任命!



(壇上に並ぶ生徒会旧役員と新役員)



(任命された後期委員長)

10月15日の全校朝礼では、新旧生徒会役員の交代式と後期委員長の任命式がありました。

これからの詫間中学校は、みなさん一人一人が作り出すものです。『おのれの力を出しきって、みんなの力を出しあって』今以上に誇りを持てる詫間中学校を築いていきましょう。